

第3学年 外国語科学習指導案

令和5年12月7日(木)

第3校時 10時40分～11時30分

3年5組33名

指導者 脇坂 希

レミレ ジェローム トーマス(ALT)

1. 単元名 DREAM ROBOT FESTA を開催しよう！

(NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 Lesson 6 Imagine to Act)

2. 単元について

(1) 教材について

本教材は、タイムマシンや動物の言葉がわかるアプリなど、あったらいいなと考える理想の機械についての話題や、理想を実現させた発明家について書かれた陸の卒業スピーチ原稿を通して、想像することの大切さを考える内容となっている。

言語活動として、Dream Robot を考え、自分の理想や考えを表現する活動を設定する。生徒は総合的な学習の授業で、自分の興味のある職業について調べ、7月には職場体験を行い実際に職業に触れている。そのため、職業の場面や身の回りの生活の中で活用できる Dream Robot を考えるとき、イメージを持ちやすく、興味を持って取り組むことができる。相手の話すまとまりのある文を聞き、概要を捉えた上で聞いた内容について自分の考えを伝えることができる言語活動であると考え。

文法事項として、仮定法過去を学習する。自分の理想を考えて伝える場面で、既習文に加え仮定法過去を用いることで、自己表現の幅を広げることができ、充実した表現につながると考える。単元を通して、仮定法過去を含むまとまりのある英文を聞き、概要を捉え、内容について自分の考えを仮定法過去や既習文を用いて相手に伝える力をつけていきたい。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、ペアやグループ活動に前向きに取り組み、良い雰囲気での学習に向かう態度が身についている。リスニング活動の後には、聞き取れなかったところをペアで確認したり、流れる音声と同時にスクリプトを読んだりする活動を継続して行っている。これは、4月に実施した英語学習のアンケートにおいて、好きな活動は「読むこと」で、苦手な活動は「聞くこと」と答える生徒が多く、主な理由として、「何を言っているのかわからない」とする生徒が多かったためである。

昨年の大分県学力定着状況調査では、「英文の要点を聞き取ることができる」「英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答えることができる」の2つの項目において、目標値を5ポイント以上回っていた。このことから、リスニング問題に取り組む頻度を増やすとともに、まとまった英文の概要を捉え、その内容について自分の考えを話したり書いたりする力を育成することが必要であると考える。

(3) 指導について

指導にあたっては、単元の始めに、世界ロボット展の様子や実際に社会で活躍しているロボット、ドラえものの道具で実現しているものなどを紹介することで、単元のゴールイメージを持たせ、単元を通して興味を持って取り組むことができるようにしたい。また、本校3人の英語科とALTの考えたロボットを単元の後半から毎時間紹介する。仮定法過去を含むまとまった英文を聞き、概要を捉えることに慣れさせていきたい。この時、聞く視点(ロボットの名前とできるようにすること)を持たせ、必要な情報と概要を聞きとることを意識するように促す。さらに、聞き取るだけにとどまらず、紹介文を聞いて自分の感想を伝える活動につなげていく。

また、ベースとなる単語力や表現力の育成のため、帯活動ではKahoot!(クイズアプリ)やカルタ、ビンゴで、新出単語や表現について楽しく聞いて発音する活動を行う。仮定法過去の定着のために、

「100万円あったら」、「ドラえものの道具があったら」、「～できたらいいな」の題材で表現活動を行い、活用しながら仮定法過去の文法の定着を目指す。さらに、自分の感想を相手に伝えることができるように、毎時間やり取り活動を行う。やり取りの中で自ら使用した単語や重要語句、表現した文については、毎回書いて記録することを繰り返し、それらを基にワークシートの中に練習問題を設定する。練習問題では、始めは単語や空所を埋める問題に取り組みせ、徐々に全文が書けるように指導していく。生徒が書いた文の見取りを行い、定着の把握を行う。やりとりの中で使用したものを、さらに練習問題で繰り返し押さえていくことにより、既習文を活用して自分の考えを伝えることができたという実感を味わわせ、定着につなげていきたい。

3 単元の見目標

Dream Robot の紹介文について、他者の紹介を聞きながら自分の考えを伝える活動を通して、ロボットの特徴を意識して聞き取りながら概要を捉えることができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。
------	--

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> 仮定法過去 (if, I wish) の特徴やきまりに関する事項を理解している。 <技能> 仮定法過去 (if, I wish) の意味や働きの理解をもとに、話された内容を捉える技能を身に付けている。	仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を聞いて、その概要を捉えることができる。	仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を聞いて、その概要を捉えようとしている。

6 指導と評価の計画 (単元指導計画) (全 11 時間)

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

時	目標と主な活動	評価			
		知	思	主	評価規準【評価方法】
1	<ul style="list-style-type: none"> 教師の Dream Robot の紹介を聞き、単元のゴールをイメージする。 仮定法過去の特徴やきまりを理解する。 「100万円あったら」何をしたいか、仮定法過去を用いて伝え合う。 	○			<知識> 仮定法過去 (if) の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【記述分析】【行動観察】
2	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法過去の特徴やきまりを理解する。 「どこでもドアがあったら」何をしたいか、仮定法過去を用いて伝え合う。 GET1 の内容について、聞き取りの視点を示しながら大まかな内容を聞き取り、ロボットの特徴を理解する。 	○			<知識> 仮定法過去 (if) の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【記述分析】【行動観察】
3	<ul style="list-style-type: none"> GET1 の内容を復習する。 「タイムマシンがあったら」何をしたいか、仮定法過去を用いて伝え合う。 デジタル教科書を活用して GET1 をペアで読む。 P89 リスニングをする。 	○			<技能> 仮定法過去 (if, I wish) の意味や働きの理解をもとに、話された内容を捉える技能を身に付けている。 【記述分析】【行動観察】

4	<ul style="list-style-type: none"> ・「～できたらいいな」の文について、仮定法過去を用いて伝え合う。 ・GET2 の内容について、聞き取りの視点を示しながら大まかな内容を聞き取り、ロボットの特徴を理解する。 ・デジタル教科書を活用して GET 2 をペアで読む。 ・P91 リスニングをする。 	○		<p>〈技能〉 仮定法過去 (if, I wish) の意味や働きの理解をもとに、話された内容を捉える技能を身に付けている。 【記述分析】【行動観察】</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去のまとめをする。 	◎		<p>〈知識・技能〉 仮定法過去 (if, I wish) の特徴やきまりに関する事項の理解を基に、話された内容を捉える技能を身に付けている。【記述分析】</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・READ 前半の内容を読み取る。 ・教師の Dream Robot の紹介を、ロボットの名前やできるようになることを視点に聞き取る。 ・教師の Dream Robot について、聞き取った内容を踏まえ自分の考えを伝える。 	○		<p>〈思考・判断・表現〉 仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を聞いて、その概要を捉えている。 【記述分析】</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・READ 後半の内容を読み取る。 ・教師の Dream Robot の紹介を、ロボットの名前やできるようになることを視点に聞き取る。 ・教師の Dream Robot について、聞き取った内容踏まえて、自分の考えを2文以上で伝える。 	○		<p>〈思考・判断・表現〉 仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を聞いて、その概要を捉えている。 【記述分析】</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・READ 後半の内容を読み取る。 ・教師の Dream Robot の紹介を、ロボットの名前やできるようになることを視点に聞き取る。 ・教師の Dream Robot について、聞き取った内容踏まえて、自分の考えを2文以上で伝える。I think that～/If～/I wish～の文などの既習文を活用する。 ・「もし私があなたなら」の文を理解しやりとりする中で活用する練習をする。 	◎	◎	<p>〈思考・判断・表現〉 《仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を聞いて、その概要を》捉えている。 【記述分析】【行動観察】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》捉えようとしている。 【記述分析】【行動観察】</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・Dream Robot 紹介文を書く。 ・ペアで見合い、完成させる。 	○		<p>〈思考・判断・表現〉 仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を書いている。【記述分析】</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・Dream Robot 紹介文を推敲する。 ・発表準備をする。 	○		<p>〈思考・判断・表現〉 仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot を紹介している。【記述分析】【行動観察】</p>
11 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・Dream Robot Festa 開催 ・グループで自分の考えた Dream Robot を紹介する。 ・ALT の Dream Robot の紹介を聞き取 	◎	◎	<p>〈思考・判断・表現〉 《仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robot の紹介文を聞いて、その概要を》捉えている。</p>

	る。				【記述分析】【行動観察】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》捉えようとしている。 【記述分析】【行動観察】
12	・ 仮定法過去のまとめをする。	◎			〈知識・技能〉 仮定法過去 (if, I wish) の特徴やきまりに関する事項の理解を基に、話された内容を捉える技能を身に付けている。【記述分析】

7 本時の指導 (11/12)

(1) 題目 Dream Robot Festa を開催しよう！

(2) 本時のねらい

ALT や友だちの理想のロボットについて、特徴を聞き取ったり、内容について自分の考えを伝えたり、自分の考えたロボットについて紹介する活動を通して、概要を捉えることができるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	教師の指導及び支援	評価
10	1. 挨拶をする。 2. Chat Time をする。	○ALT と JTE のデモンストレーションから生徒へ広げ、生徒同士の Chat Time につなげる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ What did you do last night? ・ What kind of Oden do you like? ・ If Santa Claus was coming to your house, what would you do? </div>	
5	3. ワークシートで単語・文法の復習をする。 4. 本時のめあてを確認する。	○時間を計り、集中してワークシートに取り組むように促す。 ○単元のゴールを確認した上で、本時のめあてを位置付ける。	
Dream Robot Festa 開催！～友だちと Jerry 先生が考えた理想のロボットの特徴を聞きとろう～			
22	5. Dream Robot Festa を行う。 ①友だちが考えた Dream Robot の紹介を聞く。	○Robot Festa の開催方法を確認する。 ・ ALT から進め方を説明する。 ○友だちの考えた Dream Robot について、その特徴に注目させながら概要を聞き取らせる。 ・ 友だちの Dream Robot について、その概要を捉えた上で、自分の考えを伝えさせる。 ・ 楽しんで紹介し、自分の考えを伝え合うよう促す。	

10	②ALT が考えた Dream Robot の紹介を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT はリアクションが少ないグループの支援に入る。 <p>○ALTの考えたDream Robotについて、その特徴に注目させながら概要を聞き取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取る視点を確認する。 ・ALT の理想のロボットについて、その概要を聞き取った上で自分の考えを伝えさせる（ロイロノート使用） ・ALT は、生徒の考えを全体に紹介し、共有する。 	<p>〈思・判・表〉 《仮定法過去 (if, I wish) を含む Dream Robotの紹介文を聞いて、その概要を》捉えている。【記述分析】</p> <p>〈主体〉 《同上》捉えようとしている。【記述分析】</p>
3	6. 本時の活動を振り返る。	<p>○本時のめあてに沿って振り返りをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音や内容についてALTが評価をする。 ・内容について授業者が評価をする。 	

○ALT が考えた Dream Robot の紹介文

<p>This is my dream robot, Mr. Great! He is a super robot. He is kind, funny, and strong. If I had Mr. Great, I could fly with him and he could take me to school. I could have more time to relax. If I had him, I could fly to Hawaii with him. I could enjoy swimming in Hawaii every weekend. If I had him, I could shopping with him. He could cook delicious food for me too. I would have more time to spend with my family. If I had him, he would tell me jokes when I'm sad. I would feel happy. I wish I had a robot like Mr. Great in the future. Thank you for listening. What do you think about my robot?</p>
--

○ALT の紹介文に対する生徒の考えとして、目指す生徒の姿

<p>I like your robot's name! I think that your robot is useful. I wish I had your robot in the future.</p>
<p>That's a good idea! I think that your robot is cool. If I had your robot, I would order a delicious ramen to him.</p>
<p>Your idea is excellent! I think that your robot is helpful to old people.</p>